

第 18 回:創出・提供

会長 田中 仙堂

ミッションステートメントは、「日本の茶道文化に対する造詣を深める環境を創出・提供します」と結ばれています。日本の生活文化の中で育まれた茶道ですけれども、生活様式の変化によって、普通の生活をしていれば、茶道文化に対する造詣が自然に育まれる時代でなくなってから随分久しくなりました。お茶の稽古場が、その機会を「提供」しているということはどなたも納得されることでしょう。

「創出」と始まっているのは、単に稽古場を増やしていきましょうということではありません。現在では、ご自分の自宅がそのまま茶道の稽古場になるという人の割合は、ますます減ってきています。自宅では教えることができないけれども、公共の施設などを使えば教えられるという方も、今の時代には、求められている「お茶の先生」です。

また、洋風の空間であっても、茶道文化が生み出してきた室礼の感覚や作法を生かして、心豊かな時間を過ごすのにはどうすればよいか、というアイデアも現代の茶人には求められていることではないでしょうか。

「提供」だけだと、ないものは「提供」できません、と後向きになってしまいましたが、「創出」といえば、ないから創り出すのだと、前向きに茶道を未来につなげることに取り組むことができると考えています。

平成 28 年 8 月発行 会報「えんじゅ 88 号」掲載